



## 2月うぶやま天文台星空情報①

# アンタレス食



新たな年を迎え、約1ヵ月が経ちました。今年は暖冬と言われていましたが、九州上空に $-20^{\circ}\text{C}$ の今冬一番の寒波がやってきました。阿蘇、久住、祖母の山々を一望できる一覽三山の台から見える山々には冠雪があり、厳しい冬の真っ最中です。大変寒いですが、冬が星空は一番きれいに見える季節です。晴れたら肉眼で見える限界の6等星や天の川まで見える、素晴らしいうぶやまの星空を楽しみませんか。

2月の星空情報の第1弾は、2月5日(月)昼間のアンタレス食です。2月5日の10時30分から11時30分頃にかけて、月齢25のやや細い月がさそり座の1等星アンタレスを隠す恒星食が起こります。見られる地域は、南西諸島や小笠原諸島が中心で、房総半島、紀伊半島南端部、九州南部などの一部では接食となります。産山では食にはならず、11時頃から数分間、新月前の細い月に接するアンタレスを見ることができます。日本でアンタレス食が見られるのは昨年9月21日以来となります。その時は天候が悪く、産山では雲間からろうじて観察できました。

日中の現象なので観察には天体望遠鏡が必要です。また、高度が14度とやや低めなので、南西の空の見晴らしの良いところで観察しましょう。今年は、6月20日の日の入りの頃にも広範囲でアンタレス食が観察出来ます。



昨年9月21日、産山で雲間から見えたアンタレス食

